

福島第一原子力発電所の状況

平成 25 年 2 月 15 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (2/15 11:00 時点)

| 号機 | 注水状況 | | 原子炉压力容器 下部温度 | 原子炉格納容器 圧力*1 | 原子炉格納容器 水素濃度 |
|-----|-----------|-------------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 1号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系:約1.9m ³ /h | 18.5 | 106.5 kPa abs | A系: 0.00 Vol% |
| | | 給水系:約2.5 m ³ /h | | | B系: 0.00 vol% |
| 2号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系:約3.4m ³ /h | 31.5 | 7.02 kPa g | A系: 0.04 Vol% |
| | | 給水系:約1.8 m ³ /h | | | B系: 0.04 vol% |
| 3号機 | 淡水 注入中 | 炉心スプレイ系:約3.5m ³ /h | 31.3 | 0.25 kPa g | A系: 0.18*2 vol% |
| | | 給水系:約1.9 m ³ /h | | | B系: 0.17 vol% |

*1:絶対圧(kPa abs) = ゲージ圧(kPa g) + 大気圧(標準大気圧 101.3 kPa)

*2 電源停止作業に伴いデータ欠測のため、直近で計測できている2/15 5時点の数値を記載。

【2号機】・2/15 12:35 原子炉への注水量の変動が確認されたため、給水系からの注水量を約1.8 m³/hから約2.0 m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約3.4 m³/hから約3.5 m³/hに調整。

<2. 使用済燃料プールの状況> (2/15 11:00 時点)

| 号機 | 冷却方法 | 冷却状況 | 使用済燃料プール水温度 |
|-----|----------|------|-------------|
| 1号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 11.0 |
| 2号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 12.1 |
| 3号機 | 循環冷却システム | 運転中 | 9.8 |
| 4号機 | 循環冷却システム | 停止中 | 21 |

*各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

【4号機】・2/15 6:55 4号機使用済燃料プール代替冷却システムの弁点検を行うため、同システムを停止(停止時プール水温度:21.0℃)。その後、同作業が終了したことから、同日12:09に使用済燃料プールの冷却を再開。運転状態について異常はなく、使用済燃料プール水温度は冷却停止時の21.0℃から変化がなく、運転上の制限値65℃に対して余裕があり、プール水温度の管理に問題はない。

・2/16 電源設備の点検・改造作業に伴い、4号機使用済燃料プール代替冷却システムを停止する予定。4号機使用済燃料プール水温は2/15 16:00現在で21℃であり、冷却系停止時のプール水温度上昇率評価値は0.38℃/hで停止中のプール水温上昇は、約4℃と評価されることから、運転上の制限値65℃に対して余裕があり、使用済燃料プール水温管理上問題はない。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

| 号機 | 排出元 → | 移送先 | 移送状況 |
|-----|---------------|--------------------------------------|-------------------|
| 3号機 | 3号機 タービン建屋 | 集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容 処理建屋(高温焼却炉建屋)] | 2/15 13:55 ~ 移送実施 |

・H25/1/28 東北地方太平洋沖地震により、建屋および屋外トレンチが浸水している5・6号機について、建屋内の水位上昇を抑制するため、建屋内滞留水の移送を継続しているが、更なる安全性向上に資することを目的として、非常用ガス処理系*1の屋外トレンチから仮設タンクへの滞留水の移送を開始。なお、当該作業については、2月中旬まで、適宜、実施する予定。

*1 原子炉建屋内の空気を高性能のフィルターで浄化して排気筒より放出する系統で、(A)、(B)の2系列ある。

※3号機タービン建屋からのたまり水移送先について、「集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]」と記載しておりましたが、正しくは「集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]」となります。お詫びして訂正させていただきます。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (2/15 7:00 時点)

| 設備 | セシウム 吸着装置 | 第二セシウム 吸着装置 (サリー) | 除染装置 | 淡水化装置 (逆浸透膜) | 淡水化装置 (蒸発濃縮) |
|------|--------------|-------------------------|------|------------------|------------------|
| 運転状況 | 運転中 | 停止中 | 停止中 | 水バランスをみて 断続運転 | 水バランスをみて 断続運転 |

- H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。
- H25/2/12 8:34 集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)滞留水移送ポンプ増設工事に伴い、第二セシウム吸着装置(サリー)を停止。なお、同装置の停止に伴い、同日 10:31 にセシウム吸着装置を起動し、同日 10:44 に定常流量に到達。その後、本工事が完了したことから、2/15 11:12 にセシウム吸着装置を停止。セシウム吸着装置の停止に伴い、同日 13:07 に第二セシウム吸着装置を起動。同日 13:55 に定常流量に到達。

<5. その他>

- H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を適宜実施中。
- H24/4/25～ 地下水による海洋汚染拡大防止を目的として、遮水壁の本格施工に着手。
- H25/1/8～ 4号機燃料取り出し用カバーのクレーン支持用架構および燃料取扱機支持用架構の鉄骨建方を開始。
- H25/2/13～2/14 1号機トラス室調査を実施するにあたり、原子炉建屋1階の床穿孔作業を実施。
- H25/2/15 10:50 6号機電気工事において、資機材搬出のため、作業員が6号機原子炉建屋大物搬入口の内扉を開操作し、内扉が開動作中(上昇中)に、リミットスイッチが脱落し、操作ボタンにより停止操作をしたが、上昇が停止しなかったため電源を切り、内扉を強制的に停止。内扉の上昇は停止したが、その後内扉が床面まで落下。現場を確認したところ、内扉本体の損傷は確認されたが、周辺機器および床面には異常は確認されていない。なお、内扉昇降用チェーンとのつなぎ部が損傷していることも確認されたが、内扉の詳細な落下原因等については、現在調査中。

以上